



札幌中心部のマンション価格



大京が販売する高層マンション「ライオンタワー札幌」のモデルルーム。地下街直結など高い利便性が売りだ

札幌のマンション市場で、企業経営者や医師など経済的に余裕のある層が、買物や交通の便が良い新築物件を自宅とは別の「セカンドハウス」として購入する動きが出ている。資材や地価の高騰もあって中心部の物件は高値に上り、開発業者も「セカンド需要」をある程度見越した通りの意識。「セカンドハウスを求める層は物件の希少性で決める」とされ、付加価値の高さが購買意欲を刺激しているとみられる。

札幌中心部のマンション

セカンドハウス需要活発

高い利便性・希少性 富裕層刺激

「場所が東側にもう少しずれていたら買わなかった。」2023年春の完成を目指す札幌市中央区南2西3で建設中の高層マンションを扱う大京(東京)の担当者は、顧客からこう言われたという。この物件は、物販・飲食店を軸に水族館や屋上庭園を備えた複合施設として整備され、9〜28階に133戸が入る予定。西側が札幌駅前通、南側が狸小路商店街に面し、直結する地下街から天候を気にせずに地下鉄や商業施設に行き来できる。

家事育児「まだまだ私が」



共働きでも家事育児の時間は女性が男性の約8倍、妻の女性意識は10年前より高まっている。北海道でも、北海でも多くの指で男が家事育児に力を入れている。女性意識の高まりが、男性の家事育児参加を促している。

妻の負担8倍／転勤「容易でない」のが全道各地への転勤だ。妻の負担は50代女性は30代の時、夫がいる札幌に転勤を申し渡す地方に半身転勤しながら、妻が会社に行き、半年後に半身転勤を申し渡す。妻の負担は、女性意識の高まりが、男性の家事育児参加を促している。



有我充人容疑者 秋山隆容疑者 池部彰容疑者

前町長役場から「天の声」

南富良野 仲介役も100万円受領

【南富良野】上川管内南富良野町発注の道の駅再編整備工事をめぐり入札妨害事件は、前町長の池部彰容疑者(72)ら3人が贈収賄容疑で逮捕される汚職事件に発展した。池部容疑者は、現金を提供した業者に落札させるよう指示するなど「天の声」を出し、不正な入札を主導。池部容疑者に指示を出すよう働きかけたのは、同容疑者と関係が深く町役場内で「村長」と呼ばれた仲介役だ。賄賂とされる現金約200万円、授受も仲介役を通じて行われ、2人の親密な関係が事件の背景にあった。



また、町関係者によると、13年着工の南富良野小の新校舎建設に関する入札前、両容疑者の関与を記す談合情報も同時に寄せられ、情報通りに落札業者が決定。当時、道警は不正がないか情報収集を進めたが、立件に至らなかった。町内の80代男性は「やっと捜査のメスが切れた。うみを出し、早く新たなスタート地点に立ちたい」と語った。

夕張メロン 作付け1万株減か

【夕張】夕張市内で栽培される夕張メロンの今年の作付けが、当初計画の6万株から1万株ほど減少する見通しになっている。新型コロナウイルス感染症拡大による外国人の入国制限が続き、働き手となる中国人実習生の確保が難しくなっているためだ。

今年 入国制限で実習生確保困難 作付け計画を減らす農家が增加。佐々木剛志さん(48)は実習生入りのつらさが来日できない前倒し作付けを約8300株から約7300株に減らす予定で、入手が足りないのに無理するより、品質の良いメロンを出荷したい」と理由を挙げた。